

授業科目

ソーシャルワーク特論II

担当教員名 河野 聖夫	対象学年	1・2	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

社会福祉援助実践への具体的な考察を深め、専門機関・組織における展開（業務）について検討する。実践場面（事例）に照らし合わせながら、業務の検証や評価方法への考察・検討を進める。社会福祉におけるスーパービジョンの理論と実践について考察し、実践の言語化への基本を理解する。

授業の目的

社会福祉専門職として、（現在もしくは将来的に）職場における社会福祉士の新人研修・実習プログラムの立案方法や指導の留意点を学習し、組織において後進指導の役割を実践できるようになる。
所属組織におけるソーシャルワーク業務の内容及び社会福祉士の役割について系統的に説明できるようになる。
組織における後進育成の役割、職能としての後進育成の意味を理解し、自組織のソーシャルワーク業務・役割を理解させるための新人研修・実習プログラムを作成できる。

学習目標

- 1) 専門的業務基準や業務評価について理解を深め、実践的適用を吟味する。
- 2) 組織化や人材育成の理論と展開方法の思考過程を修得する。
- 3) スーパービジョンの理論と方法を理解し、展開過程への基礎を学ぶ。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	基本的考察（組織化の意義と必要性、業務確立への視点、人材育成の必要性など）	授業計画の確認を行う。 授業への参加方法、取り組みテーマの確認を行う。	河野 聖夫
2	職能団体における倫理綱領と行動規範（基準）	講義・考察：社会福祉士を含む諸専門職の倫理綱領などを比較検討し、社会福祉士における行動規範や人材育成の意味を考察する。	河野 聖夫
3	実践分野・専門機関における業務基準	講義・討議：業務基準の実態と実例を通じて考察する。	河野 聖夫
4	業務標準化および業務評価の方法と展開	講義・考察・討議：業務の基準作りや一般化を図るための基礎を学び、具体化を考察する。	河野 聖夫
5	組織的人材育成	講義・討議（演習・発表を含む）：職場内における人材育成システムのあり方や方法について考察する。	河野 聖夫
6	スーパービジョンの理論と方法	講義・討議（演習・発表を含む）：スーパービジョンの構成要素、スーパービジョン関係、スーパービジョンの実践モデルと展開過程について学び、実践例を通じた考察を図る。	河野 聖夫
7	スーパービジョンの構成要素	講義・討議（演習・発表を含む）：スーパービジョンの構成要素、スーパービジョン関係、スーパービジョンの実践モデルと展開過程について学び、実践例を通じた考察を図る。	河野 聖夫
8	スーパービジョン関係	講義・討議（演習・発表を含む）：スーパービジョンの構成要素、スーパービジョン関係、スーパービジョンの実践モデルと展開過程について学び、実践例を通じた考察を図る。	河野 聖夫
9	実践場面を想定した業務展開	講義・討議（演習・発表を含む）：スーパービジョンの構成要素、スーパービジョン関係、スーパービジョンの実践モデルと展開過程について学び、実践例を通じた考察を図る。	河野 聖夫
10	専門職の育成と実践力向上への展開	講義・討議（演習・発表を含む）：新人や職員を対象とした教育プログラム（研修・訓練計画）の策定について考察する。 初任者研修・実習指導（指導概要、研修・実習プログラミング、業務・実習マネジメント、スーパービジョン）の実態を理解する。 研究・教育の方法と視点について考察する。	河野 聖夫
11	組織的教育プログラム	講義・討議（演習・発表を含む）：新人や学生を対象とした教育プログラムの策定について考察し、模擬計画を作成する。	河野 聖夫
12	スーパービジョンの手法と展開（個人スーパービジョン）	講義・討議（演習・発表を含む）：スーパービジョンの実践例を通じた考察を図る。	河野 聖夫
13	スーパービジョンの手法と展開（グループスーパービジョン）	講義・討議（演習・発表を含む）：スーパービジョンの実践例を通じた考察を図る。	河野 聖夫

14	スーパービジョンの手法と展開（実習指導ほか）	講義・討議（演習・発表を含む）：スーパービジョンの実践例を通じた考察を図る。	河野 聖夫
15	マネジメント（組織マネジメントとリスクマネジメント）への考察	討議・講義：組織マネジメント・リスクマネジメントのあり方について学び、現状や課題について考察する。	河野 聖夫

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	適宜紹介する					
その他の資料						

評価方法

事前レポート-発表-討論-考察・振り返り-事後レポート の一連の取組状況を通じて、理解度（50%）+達成度（50%）により評点する。

履修上の留意点

実践に還元できるようになることを意識してほしい。

この科目は、認定社会福祉士の認定単位の対象となる共通専門科目の「人材育成系科目I」としての1単位を含むことが、認定社会福祉士認証・認定機構より認められた科目である。

オフィスアワー・連絡先

第2研究棟 E305研究室 授業前後の時間帯の1時間程度（開講時期に限る） および、火曜日 2時限
kouno@nuhw.ac.jp